

“鉄 と 鋼” 寄 稿 規 定

昭和 30 年 1 月より寄稿規定を下記の如く改正しましたので御注意下さい。

1. 論文は本誌に載せる前に他の学協会誌およびこれに類する刊行物に発表されないものに限る。
2. 論文は本協会講演大会または地方講演会で予め発表したものであることを原則とする。
3. 原稿用紙は本協会所定のものを用いること。請求あり次第 (30枚綴 1冊30円) お送りする。
4. 原稿の長さは、函表を含めて会誌 5 ページ (400 字詰原稿用紙25枚) を超えないこと。
5. なるべく平易な口語体を用い、左横書きとし、漢字はなるべく当用漢字を用い、かなづかいには新かなづかいによること。
6. 論文には必ず欧文要旨 (タイプライター用紙 1 枚以内) を、その和文と共に添附すること。日本語標題と欧文標題とは必ず一致するように書くこと。
7. 図、表、写真はなるべく少くし同一事項を図、表両方で表わさないこと。図、写真は合せて 1 論文 10 個以内を原則とし、編集委員会で取捨することがある。
8. 図、写真数表には欧文の題目または説明を必ずつけること。
9. 図および数表中の文字は欧文で書くこと。
10. 図は巾を 70mm 程度に縮写しても明瞭に判読できるようにすること。図中の文字は鉛筆書きとすること。
11. 図、写真は別紙とし、原稿中にその挿入個所を明示すること。
12. 図は白紙または淡青色方眼紙に墨できれいに画き、直ちに凸版にできるようにすること。青写真は用いないこと。
13. 表はなるべく本文中に挿入すること。
14. ゴシック、イタリックを指定するときは、その文字の下にそれぞれ ——— , ~~~~~ を附すること。
15. 数字およびギリシャ文字は丁寧に記載し、混同し易い文字等は特に注意して書くこと。
16. 数学式は印刷に便利のように注意し、本文中に挿入するときは a/b , $x/(a+b)$ のように書き、行の上下に出ないようにすること。
17. 参考文献は著者名、雑誌名、巻数、発行年度、号数、ページ数の順に記載すること。抄録、翻訳もこれに準ずる。
18. 原稿は編集委員会で取捨訂正することがある。
19. 単位、記号を表わすには次の例に従うこと。

km	キロメートル.	cm ³	立方センチメートル.	cal	カロリー.
m	メートル.	mm ³	立方ミリメートル.	A	アンペア.
cm	センチメートル.	h	時.	mA	ミリアンペア.
mm	ミリメートル.	mn	分.	V	ボルト.
μ	マイクロン.	s	秒.	mV	ミリボルト.
\AA	オングストローム.	km/h	キロメートル・毎時.	Ω	オーム.
t	トン.	m/s	メートル・毎秒.	kw	キロワット.
kg	キログラム.	cm/s	センチメートル・毎秒	W	ワット.
g	グラム.	kg/cm ²	キログラム・毎平方センチメートル	$^{\circ}\text{C}$	度(温度目盛)
mg	ミリグラム.	kg/mm ²	キログラム・毎平方ミリメートル.	%	パーセント.
m ²	平方メートル.	mmHg	水銀柱ミリメートル.	Ni-Cr-Mo鋼	ニッケル・
cm ²	平方センチメートル.	mmAq	水柱ミリメートル.		クロム・モリブデン鋼
l	リットル.	kcal	キロカロリー.		